

岡本眸の夏の句

青嵐 手枕 熱く 目覚めたる  
六月 や 川に 跼めば 草の 丈  
数ふには もう 咲きすぎし 花 柘榴  
十葉の 根を 押す 雨となり けり  
椎落花 して 出来たての 水 たまり

松岡隆子 抽